

三友会だより



奇跡の脳を信じて

石川智信

平和台の階段を上る。元気な時でも億劫になる運動である。「あー、今日はちょっと疲れた。頑張りがすぎたかな」とジェスチャーや紙に書く言葉で妻は言った。「今日はどこをリハビリ散歩したの?」と聞く。照れくさそうに笑いながら、「平和台の階段を上ってきた」と言う。最近妻は平和台の散策がお気に入りである。緑の中や池畔を歩くと脳が再生していく不思議な感覚になると言う。

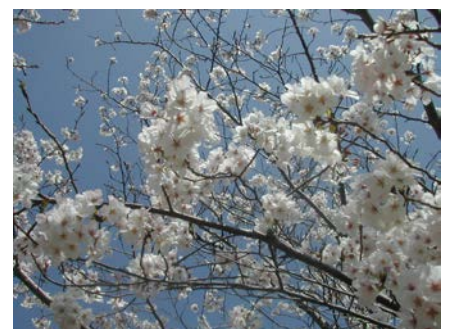
先日 NHK で奇跡の脳というドキュメンタリー番組を放映していた。37 歳で、脳出血で倒れた女性脳科学者テイラー博士が、奇跡的な回復を遂げた過程をドキュメントしていた。その中で彼女が、緑溢れる森林に来ると脳が甦るような不思議な感覚にとらわれると言っていた。食い入るように番組を見ていた妻が突然、「そうそう」と指差しながら叫んでいた。脳がダメージを受け、再生していく過程を経験した者だけにわかる感覚なのだろう。

脳はまだまだわかっていない領域が多い。その分、失われた脳の機能が代償される可能性が以前から学者の間で指摘されている。ただどうしたら脳の機能が復活できるのかという具体的な理論は確立していない。しかしながら脳の一部を切除し、会話や計算が全くできなくなっていたテイラー博士が、数学者である母親と共に懸命にリハビリに取り組み、奇跡的な復活を遂げた事実を目の当たりにする時、本人の強い意志と支える家族の愛情が奇跡の脳を生み出すのだと言う気がする。毎日3時間から4時間、時に泣き、時に笑いながら、何とかもう一度医療の現場に復帰すべく、身体リハビリと言語リハビリに懸命に取り組む妻の姿を毎日見続けている私は、人が生きていくことの大変さと素晴らしさを考えずにはいられない。

更に人生のなかで、人と人との出会いの不可思議さや有難さについてもあらためて思いを巡らす日々が続いている。私と妻の出会いから始まり、開業してから出会ったスタッフや患者の皆様との不思議な縁。今はそれらのすべてが、これから妻が復活し、私自身が再生していくための不可欠なものであると思える。

今年の3月から約1年間当院の仲間に加わっていただいた松本先生との出会いもまた、不思議な縁であった。彼の医療に対する謙虚で真摯な姿勢は、来院される患者の皆様にも当院のスタッフにとっても、新しい力を与えてくれると確信している。

今はただ、すべての縁を大切にしながら奇跡の脳を信じて、新しい年度を歩んで生きたいと決意する次第である。



3月17日より、副院長として診察を行っております。
1年間という期間ですが、宜しくお願いいたします。

副院長 松本武敏

1986年 熊本大学医学部卒業。第一内科
済生会熊本、荒尾市民で研修
1989年 熊本市市民病院・
呼吸器科レジデント
1991年 国立療養所松戸病院研修
1992年 国立がんセンター東病院
(千葉県柏市)
呼吸器科医員・厚生省技官
2001年 熊本市内の武蔵ヶ丘病院・
呼吸器科部長
2006年 東京都墨田区で在宅ホスピス
2007年 熊本再春荘病院・呼吸器科部長
2008年 熊本市内で緩和ケア病棟医長
2009年3月より いしかわ内科勤務

去年の夏休み、高校生の娘、中学生の
息子と一緒にディズニーランドに行きま
した。一番はしゃいでいたのは私だった
ようです。



皆さん、たまには童心にかえりましょう！
さて、現在太りすぎの私ですが、文化公園や平和台公園
を歩いて体重を減らしたいと思います。見かけた時は、
どうぞ応援してください。

専門：肺がんの診断と治療、在宅緩和ケア、たばこ病
肺がんの診断、抗がん剤を用いた化学療法に従事して
臨床試験におけるQOL研究をテーマにした。
肺がん撲滅、肺気腫予防の観点から禁煙活動に関わっ
てきた。がん緩和の「場」として訪問介護・訪問看護を充
実させながら、在宅ホスピスを発展させたいと考えてい
る。

熊本在宅ドクターネット学術担当



第3回神宮西文化祭



3月15日(日)に「神宮西文化祭」が開催されました。



いしかわ内科では、利用者の方々の作品出展・
スタッフはお手伝いで参加させて頂きました。



神宮西町の皆様の素晴らしい作品を見せて頂いたり、
おしゃべりしたりと、とても楽しい時間を過
ごす事ができました。有難うございました。

ぜんざいもとても美味しかったです。



作品展示の他、鶏の炭火焼・焼きそば
販売・バザー・くじびき・振る舞いお
しるこ等々、色々な世代の方も楽しむ
催しがあり、大盛況でした。

ありがとうの言葉

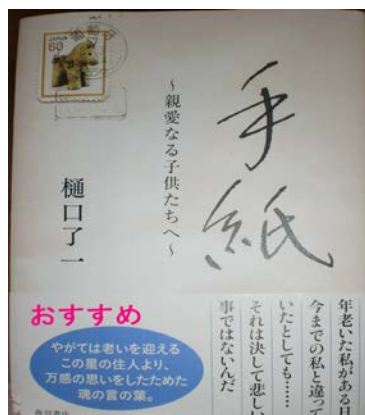
初診が平成7年2月。以降週1回腰痛等の治療に通院し、田原先生・田村先生には大変お世話になったものです。平成15年4月、その日も治療に行ったのですが、田村先生が「Hさん歩き方が一寸おかしいので、院長先生に診てもらって下さい」と言われて診てもらいました。

自分的には意識もはっきりし、さしたる徴候もなかったのですが、検査をした方がよいとの事で、そのまま家内と共に善仁会病院に（先生の紹介で）行きました。「救急車を呼びましょうか」と言われましたが、「そんな大仰なと…」タクシーで行きました。ここで一つの間違いに気付きました。急患でないのかかなりの時間待たされました。イライラしはじめた頃にやっと呼ばれ、検査の結果即入院ということで面喰いました。

24時間の点滴がはじまり、2時間おきに小便が出、眠る暇もなく体力が落ちていくのが実感でき、「これではいけない!!」と入院歴のない私も一念発起、リハビリに頑張りました。病名はなんと『脳梗塞』ということでした。周囲の環境から早く退院したい一心から、口・手指・歩行等の訓練に専念し、何とか10日間の入院を終えることが出来ました。退院の夕方、いしかわ内科の方々が来てくださいました。私が降りる、皆様が昇る瞬間で、院外で「よかったあ。」「ありがとうございます。」の対面となりました。

院長先生の速やかなる対処、また善仁会のスタッフの励ましで軽度の疾病で終えたこと、感謝に絶えません。未だ世に憚っておりますが、月2回の投薬で元気を取り戻しつつ命ある限り、何かのお役に立ちたいと願っております。本当に有難うございました。（患者第3号 S・H）

本の紹介



手紙 「～親愛なる子供たちへ」

初めて本屋でこの本を見たとき、本のタイトルに惹かれすぐに購入し読み始めました。

本の始まりは、この本の訳者の元に突然届いた一通のメールがきっかけになっています。発信人不明のポルトガル語で綴られた詩を元に、日本語に訳し書かれています。内容としては、やがては老いを迎える親から子どもに向けて書いたメッセージになっているのですが、文章一つ一つが奥深く自分の日常生活を見つめなおすとてもいいきっかけになりました。

私の姿を見て悲しんだり 自分が無力だと思わないでほしい
あなたを 抱きしめる力がないのを知るのは辛いことだけど
私を理解して支えてくれる 心だけを持っていて欲しい
きっとそれだけで それだけで 私には勇気がわいてくるのです

とても感動する言葉がたくさん書かれてありますので、興味をもたれた方は一度読まれてみてはいかがでしょうか。

（デイケア 介護職 奥野美香）



つるし雛完成しました (デイケア)

1月から作成してきたつるし雛がようやく完成し、先月デイケアと祇園デイスサービスの利用者様と一緒に大塚保育園に贈呈してきました。利用者様が一つ一つ心をこめて作ったつるし雛を見て園児の皆さんも大変喜ばれていました。また、利用者様のいつもと違う表情も拝見できて私たちも嬉しかったです。今後もこのような交流の場を増やしていければと思っています。



花見の季節



近くの文化公園ではたくさんのさくらが咲きました。

利用者様と一緒に春の暖かさ心地よい風を感じ、
とてもリフレッシュ出来るような見事な桜でした。

「また、来年もみんなと桜が見る事が出来ますように」

認知症ってどんな病気？ Part II ～今回は認知症のさまざまなタイプを紹介したいと思います

【アルツハイマー病（アルツハイマー認知症）】

原因 ベータたんぱくという異常なたんぱく質が脳に蓄積することなどによって、神経細胞の中に、ある種のたんぱく質細胞が死滅し、脳が萎縮していく病気です。脳の萎縮は、記憶を司る海馬という部分から起こり、次第に脳全体に広がります。

特徴 もの忘れから始まり、数年から十数年かけてゆっくりと進行します。病気が進むにつれて、こう抑うつ、妄想、徘徊などさまざまな症状が現れます。

【レビー小体型認知症】

原因 「レビー小体」とは脳の神経細胞の中に、ある種のたんぱく質が固まったものです。これが記憶などに関係する部分に出現すると認知症を引き起こします。多くの場合、体の動きが緩慢になるパーキンソン症状を伴います。

特徴 多くの場合、実際にはない人などが見える「幻覚」が、まず現れます。その内容も具体的です。記憶障害などの症状もありますが、アルツハイマー病ほど強くありません。症状は変動しやすく、時間帯や日によって強く表れることもあればほとんどあらわれないこともあります

【脳血管性認知症】

原因 脳梗塞や脳出血などの脳血管障害(脳卒中)によって、神経細胞が死んでしまうことで起きます。アルツハイマー病を合併している人もいます。

特徴 脳卒中の発作を繰り返すたびに、神経細胞のダメージが大きくなるので、症状は段階的に重くなっていきます。障害を受けていない部分の脳の機能は保たれるので、できる事とできない事の差が比較的はつきりしているのも特徴の一つです。

～認知症の原因となる病気は他にもあります。中には**治療によって治るものもある**ので、専門医師からの正確な診断をうけることが大切です。

認知症と診断されたら①タイプ②進行の程度③この先どうなるか？を聞くことで症状の変化が予測でき、**介護も楽**になるでしょう。

お困りのことがありましたらご相談に乗らせていただきます。

いつでも連絡ください。

(祇園デイスサービス TEL:83-2212)



咳喘息の話

最近、咳が止まらないという患者様が多いようです。今回は、最近使われだした「咳喘息」をテーマにお話したいと思います。

(咳は一種の体の反射で、気道内への異物の侵入を防ぎ、気道にたまったものを取り去るための防御反応です。)

咳喘息とは風邪をひいたあとに3週間前後の咳が続き、長いものでは年単位で続くものを言います。咳喘息の症状は咳のみで、喘息にみられるゼーゼーや呼吸困難などは症状としてはありません。喉がいがらっぽくなる場合もありますが、発熱は伴いません。咳喘息から3割の人が喘息に移行するといわれていますので、早めの治療が望めます。原因はアレルギーによるものが多いとされますので、ハウスダストやペットの毛、エアコンのつけっぱなしなどに注意し、普段からお茶などを飲んで喉を潤しておきましょう。

咳の予防



① マスクをしよう！

咳をするとウイルスは2m先まで飛び散ります。マスクをするのは、風邪のウイルスをまき散らせないようにするだけではなく、ウイルスを自分に入れないよう予防する策としても使えます。

② うがいをしよう！

外から帰ってきたら、手洗い、うがいをしましょう。うがい薬や緑茶を使ってうがいの望ましいです。しっかりと喉の奥を開いて、上を向いてうがいしましょう。



～鼻のうがい～インフルエンザなどのウイルスは、喉よりも鼻の奥の方に沢山潜んでいます。最初は怖いかもしれませんが、スッキリします。鼻洗浄機も市販されていますので、試しに使ってみてはいかがでしょうか。

咳が続いているということは、ただの咳ではありません。ちゃんと医師の指導のもと治療しましょう。病気の種類によって、それにあった薬と咳止めが処方されることになります。病院を受診するとき、いつごろからどんな音の咳があるか、熱があるか、痰がからむか、咳がひどい時間帯はあるか、どんなときに咳がひどくなるかなどを病院に伝えましょう。咳が長引く前に、早めに病院に受診しましょう。(看護師・宮崎真希)

平成21年度 介護保険改正の概要

《1》介護従事者の人材確保・処遇改善

負担の大きな業務への評価

施設における夜勤業務負担への評価、重度認知症対応への評価や緊急的な業務負担に対する評価を行うなど、負担の大きな業務に対する報酬の見直しです。

専門性への評価 介護従事者の定着促進

介護福祉士の資格保有者が一定割合雇用されている事業所が提供するサービスに対する評価・勤続年数をする者が一定割合雇用されている事業所についての評価です。

人件費の地域差への対応

山間部の小規模事業所が行うサービスについての評価です

※介護保険御利用者様は利用料金が、一部変更になるサービスがあります。

詳しくは担当ケアマネジャーにお尋ねください

《2》医療との連携や認知症ケアの充実

～医療と介護の連携、今後の認知症ケアに力を入れていきます

《3》効率的なサービスや新たなサービスの検証

～介護保険で借りれる福祉用具が増えます。

いしかわ居宅介護支援事業所
橋田・橋口 ☎0985-61-1877

いしかわ内科の短歌サークル活動は平成8年ごろから始まりました。平成13年12月に第1号の歌集『輝き』を作成しましたが、その当時のメンバーで最高齢だった酒井ミキさんのことは今でも忘れることはできません。酒井さんは平成12年11月から当院デイケアを利用するようになりました。明るく朗らかで誰とでも仲良くなり、みんなに愛され、多趣味で、いつも元気な掛け声をかけながら平行棒で歩く練習をしていました。ある日、「私が短歌を作ってみませんか」とお誘いすると「この歳（93歳）でできるかなあ」と言いながら次のご利用日にはたくさん作ってこられました。毎月の短歌会にはみんなが3首作ってくるところを、いつも10首以上書いてきていましたので、その中から3首選ぶのがたいへんだったことを思い出します。

この歳で短歌を作る楽しさよ生きててよかった九十三の夏（第1号より）

デイケアの泡入りの風呂気持ちよく泡も飛ぶ飛ぶ冗句飛び交う（第2号より）

あなたより五十四年も生き抜いたあの世へ行けばなんとおっしゃる（第3号より）

デイケア一吋早起き薄化粧九十五歳も女なんです（第4号より）

平成16年9月、NHKの敬老特別番組『三十一音いのちの歌』に酒井さんの短歌作りが紹介されました。

平成18年、施設に入所となりましたが、入所後も部屋の窓から外を眺めながら短歌を作っていたとのことでした。入所後しばらくして面会にいったときに何首か見せていただき、「また来ますからもっとたくさん作っててくださいね」と言って笑顔でお別れしました。

窓越しに枯れはじめた木を見れば我に逝く道教えている様（第5号より）

それから数ヵ月後、まさに大木が朽ちるように静かに旅立たれました。93歳で短歌を始めて、98歳で亡くなられるまでに作られた322首の歌が歌集『輝き』の第1号から5号に残されています。

ゆっくりとあなたのもとへいきましょう過去の財産いっぱいつめて（第4号より）

この4月22日は酒井さんの生誕101歳になる日です。今頃、あの世でも大好きなビールを片手に、細い指を折りながらご主人と二人で歌を詠んでいることでしょう。

当院では今も3ヶ月に1回ぐらいの割合で短歌会は続いています。3月の歌会の作品より

春近しランドセル背に朝に行くひ孫の姿夢にて見たり（岩野トミコ）

強がりの吾をさとした夢の君今なつかしき若かりし想い（古澤トミ子）

ご近所の交じわり薄し一人居の回覧板がそっと置かれて（有馬節子）

今年こそ恋のつばみも開きたい毎年思う桜の下で（土屋裕子・職員）

息止まるほどの貴女の抱擁に半世紀前の母を重ねる（田原公彦・職員）

新人紹介



緒方 亜紀子・デイケア看護師

初めまして。お酒が大好きで、飲みすぎて体を壊さないよう気をつけています。仕事復帰は久しぶりで「浦島太郎」状態ですが、ついて行けるように頑張ります。

編集後記

今年は桜の開花が早かった為、満足な花見ができず、非常に残念でした。まだまだ不安定な気候が続いております。皆様も体調にお気を付けくださいませ。